



児童文学界に煌く星 石井桃子さん

ちょうど一年前のライブラリーで、児童文学者・翻訳家の石井桃子さんが100歳を迎えられたことをお伝えしました。そして今年の三月一日には、石井桃子さんが自宅を開放して開いた家庭文庫「かつら文庫」が50周年を迎えられるということで、記念の集いや記念展示会が行われたばかりです。

この50周年を見届けたかのように、つい先ごろ石井さんが亡くなりました。石井桃子さんと言えば、「くまのプーさん」「ミッフィー」シリーズを始め、「ピーターラビット」「ちいさいおうち」「たのしい川べ」…昔も今も変わらず子どもたちが楽しめる、上質な海外作品の翻訳を数多く手がけられました。

活躍は翻訳のみならず、初の創作童話「ノンちゃん雲に乗る」はベストセラーとなり、第一回芸術選奨文部大臣賞を受賞。自伝文学「幼ものがたり」では、石井さん自身の小さなころの記憶が、絵本「やまのこどもたち」や「やまのたけちゃん」では、懐かしい日本の風景が描かれています。

昭和13年には、戦争が激しくなっていく中にもかかわらず、白林（はくりん）少年館を立ち上げ、子どもたちが心から楽しめる本の出版を企画されました。現在岩波から出ている「ドリトル先生」シリーズは、井伏鱒二の翻訳となっていますが、もともとはこの白林少年館から出版するため石井さんが下訳をし、井伏氏に依頼をしてできあがったものだという事です。また編集者として「日本小国民文庫」（新潮社）や「岩波少年文庫」（岩波書店）の創刊に携わり、児童文学の普及に貢献されました。

福崎町立図書館には、約200冊の石井桃子さんの作品を所蔵しています。半世紀以上たってもなお輝き続けるその作品の数々に、改めて触れてみてはいかがでしょうか。

(写真左上より)

「ピーターラビットのおはなし」「幼ものがたり」「ノンちゃん雲にのる」「くまのプーさん」「スザンナのお人形」「やまのこどもたち」「ちいさいおうち」

☆当館で所蔵する石井桃子さんの著作・翻訳リストを用意しています。

本を探される時の参考になさってください。



図書館カレンダー

※ は休館日です。

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7 えほんの じかん 11:00~	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24 おはなし会 11:00~
25	26	27	28	29	30	31 映画会 14:00~ おたのしみ 会 14:00~

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 えほんの じかん 11:00~	12 資料 整理日	13	14 おはなし会 11:00~
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 映画会 14:00~
29	30					

およげ! うみのなかまたち

空に大きなこいのぼりが泳ぐ季節です。今回は「こい」にちなんでこんな魚の絵本はいかがでしょう？



「かえってきたさけ」
(フレッド・フレガー 文)
たまごからうまれて、ふるさとの川へかえるまでのさけの一生がわかります。



「あたごの浦」
(脇和子・脇明子 再話)
月夜のぼんに、浜辺でたこやたい、ふぐたちがあつまって、かくしげいをひろうします。たのしい絵本。



「たこなんかじゃないよ」
(秋野和子 文)
すなにかくれたり、とうめいになったり。たこのからだのもようが、いろいろにかわるのはどんなとき？



蔵書点検について…4月15日(火)から23日(水)まで、図書館は蔵書点検を行います。その間休館になりご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。



蔵書点検って？

- 4台のバーコードスキャナーで、開架室約6万冊+書庫約2万冊の本すべてをチェックします。
- 図書館のデータベースには、すべての本について、タイトルや著者などの本そのものの情報(書誌)と、その本が図書館でしまわれている場所(所蔵)の、2つのデータが登録されています。本のバーコードとデータベースを照らしあわせて、間違った場所にしまわれている本はないか、なくなっている本はないか…といったことを調べます。その後書架の清掃、整頓、棚の移動などを行います。
- 日々職員が棚の整理をしていますが、こうした大掛かりな本の整理・点検が行われるのは、年に一回です。
- 蔵書点検では…迷子の本や、ほこりや虫など…いろいろなものが出てきます。

おねがい

みなさんが図書館を利用しやすいよう、棚から取り出した本はどうぞ元の場所へ返してください。
もし場所がわからなくなったら、手近なところへ返さずに、カウンターまでお持ちくだされば、職員が元の場所へ返却します。
ご協力どうぞよろしくおねがいします。



ニュースの書棚

今年の3月、フィンランド南部の図書館から、100年以上にわたって貸し出されていた本が返却されたというニュースがありました。返却されたのは、1902年に出版された宗教月刊誌で、誰がいつ借りたか記録にないとのこと。長いこと忘れられていた本が、やっと息を吹き返したというわけで、本も図書館もきっと喜んでいることでしょう。
フィンランドは福祉や社会保障と同様、図書館ネットワークも充実していて、利用者数も非常に多いそうです。100年以上前からある図書館、というのも歴史を感じます。

☆片桐はいり「わたしのマトカ」

2006年に公開された映画「かもめ食堂」にミドリ役で出演された片桐さんの、ロケ地フィンランドでのエピソードを中心にしたエッセイ。北欧式サウナ体験や映画の裏話など思わず笑いがこぼれる温かく楽しい本です。



図書館からお知らせ

リサイクルブックフェア

5月13日(火)~25日(日)

2006年4月から2007年3月までに購入した雑誌をリサイクルしておわけします。

1人10冊までお持ちいただけます。

(※貸出カードが必要になります。お持ちでない方はこの機会にぜひお作りください。)

ゴールデンウィーク中の開館日

連休中も図書館は通常どおり開館します。

4月28日(月)・5月5日(月)のみ休館日となります。

静かにゆっくりと過ごす連休にどうぞご利用ください。